

第 3 9 回田原市市民協働まちづくり会議

日時：令和 7 年 3 月 1 8 日（火）

午後 3 時から

場所：田原市役所北庁舎 3 階 3 0 2 会議室

1 報告事項

（1）令和 6 年度 田原市市民活動支援制度の活用状況について

資料 1

（2）令和 7 年度 田原市市民活動支援制度について

資料 2

（3）田原市民活動支援センターの運営について（当日配付）

資料 3

（4）市民活動だより VOL. 33 発行

資料 4

※しみんのひろば開催（令和 7 年 2 月 9 日）チラシ

（5）企業・学生ボランティアについて

資料 5

（6）田原市市民協働まちづくり事業補助金交付要綱の一部改正について

資料 6

2 その他

○意見交換等（当日配付）

資料 7

○田原市市民協働まちづくり事業補助金の報告会・審査会

令和 7 年 3 月 2 1 日（金） 田原市役所 大会議室

①午後 6 時から 令和 6 年度報告会

②終了後 令和 7 年度公開審査会

田原市市民協働まちづくり会議委員名簿

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

番号	職名	委員氏名	役職等	備考	出欠
1	委員	わたらい みかこ 渡会 美加子	－（公募）－	1号委員 （公募市民）	出
2	委員	はしもと さとえ 橋本 聡恵	－（公募）－	1号委員 （公募市民）	出
3	委員	ふじわら ひろやす 藤原 裕泰	田原市地域コミュニティ連合会理事	2号委員 （市民活動団体）	出
4	委員	すずき ゆうだい 鈴木 雄大	田原青年会議所専務理事	2号委員 （市民活動団体）	出
5	委員	かなざわ みゆき 金澤 みゆき	田原市ボランティア連絡協議会副会長	2号委員 （市民活動団体）	出
6	委員	ふじい ただよし 藤井 正剛	田原市文化協会会計	2号委員 （市民活動団体）	出
7	委員	かい ふみお 甲斐 文夫	田原市スポーツ協会書記	2号委員 （市民活動団体）	出
8	委員	まえざわ まさかつ 前澤 政勝	田原市商工会副会長	3号委員 （事業者の団体）	欠
9	委員	ま せ ひろふみ 間瀬 浩文	J A愛知みなみ代表理事専務	3号委員 （事業者の団体）	出
10	委員	おおば ひろかず 大羽 浩和	田原市企画部長	4号委員 （市の機関）	出
11	委員	ふじい よしたか 藤井 吉隆	愛知大学地域政策学部教授	5号委員 （学識経験者）	出

【事務局】

企画部 企画課	仲谷 和也（課長） 宮嶋 綾子（課長補佐兼係長） 山本 妃奈子（主事）
---------	---

田原市市民協働まちづくり会議 配席表

令和7年3月18日（火）午後3時から
田原市役所北庁舎3階 302会議室

藤井 吉隆
（愛知大学地域政策学部）

委員 渡会 美加子 （公募委員）			委員 藤井 正剛 （田原市文化協会）
委員 橋本 聡恵 （公募委員）			委員 甲斐 文夫 （田原市スポーツ協会）
委員 藤原 裕泰 （田原市地域コミュニティ連合会）			委員 間瀬 浩文 （JA 愛知みなみ）
委員 鈴木 雄大 （田原青年会議所）			委員 大羽 浩和 （田原市企画部）
委員 金澤 みゆき （田原市ボランティア 連絡協議会）			
事務局（企画課）			

企画課長
仲谷 和也

課長補佐兼係長
宮嶋 綾子

主事
山本 妃奈子

出入口

令和 6 年度 田原市市民活動支援制度の活用状況

1 田原市市民協働まちづくり事業補助金

(1) 通常枠

市内の市民活動団体が行う公益的な事業（地域づくり、福祉、環境保全等）の事業費の一部を支援する制度。団体の自立を促し、目的実現を支援するため、補助は 3 年を限度としている。

(補助率 1／2、上限 20 万円)

○補助額 5 万円以上 20 万円以下（補助対象経費 20 万円以上）の事業

団体名・事業名	事業内容	補助額 (総事業費)	事業担当課
(一社)スマイルビーチプロジェクト スマイルビーチプロジェクト 2024	障がいのある人もない人も互いに支え合い、地域でいきいきと暮らす社会の実現「ノーマライゼーションの地域づくり」を目指し、障がいを持つ子どもを対象にサーフィンの体験会を実施。	73,000 円 (146,870 円)	地域福祉課
子育てサークル ここしか 子育て世代の学びの場づくり	田んぼの勉強会や豚を育てる等の体験会を開催し、子どもたちが食べ物へ感謝する気持ちを学ぶ。また、子育てグッズの交換会等のイベントを通じ、子育て世代の交流を図り、みんなで子育てをする場を作る。	200,000 円 (505,612 円)	生涯学習課

(2) 少額枠

○補助額 5 万円未満（補助対象経費 10 万円未満）の事業 **(補助率 1／2、上限 4 万 9 千円)**

団体名・事業名	事業内容	補助額 (総事業費)	事業担当課
視覚障害者団体 さくらんぼ 心とところをつなぐ 音楽会	視覚障害者に対する理解を深めることを目的に、音楽イベントを開催。視覚障害者と晴眼者のコラボ演奏、目隠し体験、視覚障害に関するクイズ大会を実施し、楽しみながら視覚障害者と市民の交流を深める。	14,000 円 (42,058 円)	地域福祉課
くぬぎの会 くぬぎの会 30 周年記念講演会	図書館を拠点としたまちづくりについて最新事例を学び、今後の読み聞かせ活動に活かすため、慶応義塾大学の糸賀雅児氏を迎え、講演会「最近のまちづくりと図書館」を開催。	39,000 円 (79,174 円)	図書館

(3) 新規団体枠

新しく設立された団体の活動経費の一部を支援するもので、市民活動団体の新しい担い手づくりを目的とする。**(補助率 10／10、上限 5 万円)**

■当該年度に設立満 3 年に満たない団体

団体名・事業名	事業内容	補助額 (総事業費)	事業担当課
たはら女性コミュニティ運営委員会 女性起業家スタートアッププロジェクト	女性が趣味や学んだスキルを活かしてビジネスを始めるためのきっかけの場として、「やってみまいマルシェ」を開催。	50,000 円 (53,178 円)	商工課

(4) チャレンジ枠

市民活動の担い手を増やし、地域活性化につなげることを目的として、青年層の市民による公益活動を支援する制度。若者が公益活動にチャレンジし、楽しみながらまちづくりに取り組めることを期待。(補助率1/2、上限9万円)

■おおむね18～40歳の市民5人以上で構成される団体

団体名・事業名	事業内容	補助額 (総事業費)	事業担当課
一般社団法人ほつきよく たはらマーブルタウン	子どもたちが仮想都市であるマーブルタウンでまちづくりを体験し、遊びながら自ら考え学ぶ自主性を育むことを目的としたイベント「たはらマーブルタウン2024」を開催。	33,000 円 (77,949 円)	企画課

(5) 人材養成枠

団体の活動に関する専門知識を習得する講座・研修等で、公益活動の推進に有効なものに対する参加費や旅費を支援する制度。

【講座】 →応募団体なし

【視察枠】 →応募団体なし

2 市民提案型委託事業制度

市民活動団体からの提案による事業の委託制度。市が目的を決めて募集する「テーマ提示型」と、団体が分野や取り組みを自ら考えて提案する「自由テーマ型」がある。

※令和6年4月号広報及び田原市ホームページで周知

【テーマ提示型】

- (1) 募集期間：令和6年4月1日（月）～5月31日（金）
- (2) 募集テーマ：男女共同参画啓発事業（委託費上限：130,000円）
- (3) 応募団体：YAROMA I
- (4) 事業名：こどもを守る性情報リテラシー育成事業
命の誕生や性教育に関する親子教室の開催
(全2回、小学6年生以下の児童とその親)
- (5) 事業内容：性について専門的な知識を持ち、こども向けの性教育の実績のある、こもれび助産院の河辺紅子氏を講師として、親子で命の大切さを学ぶ。
※インターネットやスマホの普及に伴い、正しい知識を持たない年齢の子どもが誤った性に関する情報を簡単に入手できてしまう。こころと身体を守るために必要な「性の知識」を幼少期から伝えていく。

【自由テーマ型】

- (1) 募集期間：4月1日～7月30日
→応募団体なし

3 社会貢献活動災害補償制度

市民公益活動（社会貢献活動）中の万一の事故に対して、田原市社会貢献活動災害補償制度により、一定額の補償を準備し、活動者又はその指導者が安心して活動していただくことにより、市民協働のまちづくりの促進を図る。

【制度活用状況】※事故件数は、契約期間（５月３日～翌年５月３日）で集計

	傷害事故	損害賠償	合計	備考
令和３年度	５件	１件	６件	
令和４年度	２０件	０件	２０件	
令和５年度	１６件	０件	１６件	
令和６年度	８件	２件	１０件	R7.3.3 現在

令和7年度 田原市市民活動支援制度

田原市では、市民参画・協働のまちづくりを促進するため、市民の皆さんが実施する公益的な活動を支援するための制度を設けています。ぜひ、あなたの市民活動にご活用ください。



みんなで社会に役立つ活動がしたい！

田原市市民協働まちづくり事業補助金

健康福祉・環境保全・地域づくりなどの公益活動を行う市民活動団体さんを応援する制度です。柔軟な発想で、社会に役立つ活動をぜひご提案ください！
※事業の経費や団体の設立年数により利用できる枠が異なります。



① 通常枠(補助対象経費が 10 万円を超える事業)

【募集期間】

令和7年 2月3日(月)～3月3日(月)

※補助限度額 20 万円(補助率 2 分の1)

② 少額枠(補助対象経費が 10 万円以下の事業)

【募集期間】

令和7年 2月3日(月)～令和8年 1月 20日(火)

随時受付(予算額に達し次第終了)

※補助限度額 5万円(補助率 2 分の1)

※活動のための講座の受講・視察も対象となります

③ 新規団体枠

新たに仲間を募って立ち上がった市民活動団体さんを応援する制度です。

【募集期間】

令和7年 2月3日(月)～令和8年 1月 20日(火)

随時受付(予算額に達し次第終了)

※補助限度額 7万円(補助率 10 分の 10)

※設立3年未満の団体が対象となります



少額枠では、市民活動団体の活動に関連する講座の受講や先進事例の視察も補助対象となります！ ぜひご活用ください。

市民提案型委託制度

市民活動団体さんが提案した地域の課題を解決するための事業を、市と団体が委託契約を結び、実施します。

市役所の仕事を
わたしたちでやってみたい！



【テーマ提示型】

【令和7年度募集テーマ】 男女共同参画啓発事業

男女共同参画を市民の方に広く知ってもらうための講座の企画、開催やパンフレットの作成など

【募集期間】

令和7年 4月1日(火)～5月30日(金)

※事業費 13 万円(上限)

【選考方法】

書類審査、審査会(非公開)

※予算額は田原市議会第1回定例会議決後に確定します。

【自由テーマ型】

「こんな事業があれば地域の課題が解決できるかも！」という企画など、皆さんの自由な発想でご提案ください。

【募集期間】

令和7年 4月1日(月)～7月31日(木)

※事業費 100 万円(上限)

【選考方法】

書類審査、審査会(非公開)



○それぞれの補助金、委託制度の詳細な募集概要は、市ホームページで紹介しています。



田原市社会貢献活動災害補償制度



田原市市民協働まちづくり条例の施行に伴い、市民活動団体による市民公益活動に取り組みやすい環境を整える市の責務が明確化されました。市では市民公益活動(社会貢献活動)中の万一の事故に対して、田原市社会貢献活動災害補償制度により、一定額の補償を準備し、活動者又はその指導者が安心して活動していただくことにより、市民協働のまちづくりの促進を図ります。

補償対象となる団体

市内に活動拠点を置く5人以上で構成する市が認めた団体(地域コミュニティ、体育協会、文化協会、市や社会福祉協議会が事務局を担う団体など 詳しくは市民協働課へお問合せください。)で、継続的に活動し、その責任者が明確になっている団体。※市外居住者が構成員の過半数を占める団体を除く。

補償対象となる活動

補償対象団体が自主的に取り組む社会貢献活動で、計画的、継続的又は臨時的な直接的活動。

情報発信

市民活動だより



広報たはら



ATTAKA



インスタグラム



フェイスブック



どすこいネット



ホームページ



田原市民活動支援センター

市民活動に関する相談、支援等を行っています。

■田原文化会館フリースペース 【電話】0531-22-1111(内線 811)※開設時のみ
【開設日時】火曜日・土曜日 12:00~16:00
【Eメール】shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

■田原市役所企画課(南庁舎 3 階) 【電話】0531-23-3507 【FAX】0531-23-0669
【開庁日時】平日 8:30~17:15
【Eメール】kyoudou@city.tahara.aichi.jp



田原市民活動支援センターの運営について

【1】田原市民活動支援センターの運営状況

(1) 設置目的: 市民活動の活性化を図るため、平成19年度に設置

- 市民活動団体に対する情報の提供
- 市民、団体間の交流促進
- その他支援による市民活動の推進

(2) 設置場所及び設備

- 場所: 田原文化会館フリースペース内 約35.8㎡
- 設備: カウンターテーブル、掲示板、閲覧用パソコン、電話(内線)、メールアドレス、印刷機 等

(3) 運営体制の経緯

	運営方式
H19.4～H22.3	《業務委託》 特定非営利活動法人たはら広場
H22.4～H28.3	《市直営》 市民活動推進スタッフ(嘱託員)、市民協働課職員
H28.4～H29.4	《市直営》 企画課協働係職員
H29.5～	《業務委託》 たはら市民活動応援隊

(4) 運営内容

- 市民活動相談、情報紙発行、広報記事作成、メールマガジン等の発行、市民活動団体交流・啓発事業企画、東三河市民活動推進協議会への協力、講座の開催、印刷機管理 等

(5) 相談件数推移

年度	R2	R3	R4	R5	R6
総件数	(4.5 休)49	64	43	64	29

※令和6年度は令和7年2月末までの集計

(6) 主な相談内容

- 活動相談 → NPO設立・手続き関係はどうしたらいいか
- 補助金関連 → 市補助金の申請相談／各種助成制度の情報収集
- 広報 → 市広報媒体への掲載依頼等
- 一般 → 情報交換
- 市民活動団体交流会 → イベント出展等の相談

【2】令和7年度の運営体制(予定)

(1) 応募団体：たはら市民活動応援隊

(2) 委託期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

(3) 開設日：原則 毎週火・土曜日／正午～午後4時

(4) 委託金額：499,000円(予定)

(5) 委託内容

(1) 市民活動に関する相談及び助言

(2) 市民活動を行う人材の育成及び支援

① 市助成金の周知と相談支援

② 各種民間助成金情報の周知と相談支援

③ 市民及び市民活動団体を対象とした講座「市民まちづくり講座」の開催

※外部の講師料については、市の予算で対応。

④ 市民活動団体間の交流及び市民活動への参加啓発を目的としたイベントの企画提案

(3) 市民活動に関する情報の収集、提供及び発信

① 市民活動の取材

② 市内外の市民活動に関する情報の周知

③ 市民活動だよりの原稿作成(年1回)

④ 広報たはらの原稿作成

⑤ メールマガジンの発行

⑥ SNSを活用した情報発信

⑦ どすごいネットを活用した情報の収集及び発信

みんなのチカラでまちづくり

市民活動 だより VOL.33

2025.2.17号

発行:田原市民活動支援センター(市役所企画課)

田原で市民活動に取り組む“ヒトたち”を紹介します！

buddies バディーズ

我々 buddies は、見えない、聴こえないメンバーと健常者が一緒になって音楽を楽しんでいる団体です。buddy(バディ)とは、「仲間、相棒」といった意味をもつ英単語です。共に活動を楽しむ仲間や、手助けをしてくれる人々の間でよく使われ、buddies(バディーズ)は、仲間の集まりであることを表しています。

田原市では、さまざまなイベントが開催される中で、ダンスやカラオケの発表はよく見かけますが、バンドで音楽を発信する方やグループが少ないように感じていました。

もっと音楽を響かせたい、障害があっても出来ることを広めたい。そんな思いから田原市で活動しているメンバーを集め、2年前にスタートを切りました。

普段の練習においてはコミュニケーションを取ることがなかなか大変な場面もありますが、それぞれが出来ることを発揮して buddies を支えています。

今後は、いろいろな楽器の出来るメンバーも募集し、色とりどりの音楽をお届けしていきたいと思います。



▲「第17回しみのひろば」での活動の様子(R5.10.1)



▲「第3回 心とところをつなぐ音楽会」の様子(R6.5.26)

田原福祉センターや神戸市民館で
不定期に練習しています。
お気軽にお声がけください。

*代表 柳田知可

*連絡先 鈴木登土勝

090-5856-7314

田原市民活動支援センターの 協働によるまちづくりへの取組

田原市民活動支援センターは、市民と行政との協働によるまちづくりを進めるために設置されました。

幅広い分野で活動する市民活動団体に対し、情報の提供、団体間の交流促進、活動相談、その他の支援を行うことで、更なる市民活動の活性化を目指しています。

今回は、市民活動支援センターが推進する「まちづくり」について、その意味や課題などをご紹介します。



市民協働による「まちづくり」って、何？

市民協働による「まちづくり」とは、「地域の魅力や活力を高めるための活動」などを指します。地域住民、自治体、そしてさまざまな機関や団体などが連携・協力しながら、既存の資源を活用し、改善していく取り組みが主流となっています。

田原市民活動支援センターでは、まちづくりについて考え、学ぶ機会として、毎年「市民まちづくり講座」を開催しています。

過去に開催した市民まちづくり講座

令和3年度(実施日:令和4年1月29日)

講師●田原市図書館館長 是住久美子氏

「学び合いで育む人づくり、まちづくり」

自身のNPO活動の経験や事例から、「まちづくりの拠点としての図書館」などについて講演



令和4年度(実施日:令和5年2月26日)

ワークショップ●「みんなで語ろう まちづくり」

田原市内でまちづくり活動(ボランティア・NPO・市民館など)に取り組んでいる人や、まちづくり活動を始めたいと思っている人と対話するワークショップを開催



令和5年度(実施日:令和6年2月11日)

講師●NPO法人

岡崎まち育てセンターリタ

理事 三矢勝司氏

「こどもも 若者も 現役も ワクワクする まち育て」

地域の公園の再生など、市民によるまちづくりの実例を紹介しながら、その展望について解説



令和6年度(実施日:令和7年2月16日)

講師●鈴木さやか氏

「東大を辞め渥美半島へ!?移住した理由」

渥美どろんこ村や「渥美半島の50年後に向けたまちづくり」を行う株式会社あつみ編集舎などで活動している鈴木さやか氏から、渥美半島のまちづくりについて紹介



「しみんのひろば」について

田原市民活動支援センターでは、市民活動団体が集まって活動発表を行うことで、市民の力をまちづくりに生かすことを目的に「しみんのひろば」を開催しています。

まちづくりには、人口減少や高齢化、ビジネスや雇用創出の難しさ、インフラ施設の老朽化や災害被害への懸念など、様々な課題があります。「しみんのひろば」を通して、同じ市民活動を行う団体同士が交流を深め、それぞれの課題の解決に繋がることを目指しています。



令和7年2月9日(日)実施

田原市民活動支援センターは、まちづくり活動を行う皆さんの支援を行います。
お気軽にお立ち寄りいただき、ご相談ください！

令和6年度

補助金・委託制度はこんな活動に使われました

市民協働まちづくり事業補助金

6つの事業で活用がありました！

一般社団法人スマイルビーチプロジェクト 「スマイルビーチプロジェクト2024」	子育てサークル「ここしか」 「子育て世代の学びの場づくり」
障がいのある人もない人も互いに支え合い、地域でいきいきと暮らす社会の実現「ノーマライゼーションの地域づくり」を目指し、障がいを持つ子どもを対象にサーフィンの体験会を実施しました。	田んぼの勉強会や豚を育てる等の体験会を開催し、子どもたちが食べ物へ感謝する気持ちを学びました。また、子育てグッズの交換会等のイベントを通じ、子育て世代の交流を図り、みんなで子育てをする場を作りました。
視覚障害者団体さくらんぼ 「心とところをつなぐ音楽会」	くぬぎの会 「くぬぎの会30周年記念講演会」
市民の方々に視覚障害者への理解について体験を通して伝えることを目的に、他の団体ともコラボした音楽イベントを開催し、併せて目隠し白杖体験や点字の体験も行いました。	図書館を拠点としたまちづくりについて最新事例を学び、今後の読み聞かせ活動に活かすため、慶応義塾大学の糸賀雅児氏を迎え、講演会「最近のまちづくりと図書館」を開催しました。
たはら女性コミュニティ運営委員会 「女性起業家スタートアップ応援プロジェクト」	一般社団法人ほっきょく 「たはらマーブルタウン2024」
女性が趣味や学んだスキルを活かしてビジネスを始めるためのきっかけの場として、「やってみまいマルシェ」を開催しました。	子どもたちが仮想都市であるマーブルタウンでまちづくりを体験し、遊びながら自ら考え、学ぶ自主性を育むことを目的としたイベント「たはらマーブルタウン2024」を開催しました。

市民提案型委託事業【テーマ提示型】

YAROMAI

こどもを守る性情報リテラシー育成事業 親子教室「いのちのおはなし」開催

インターネットやスマホの普及により、子どもが誤った性に関する情報を簡単に入手出来てしまう状況の中で、こころと身体を守るために必要な「性の知識」を幼少期から伝えていくことを目的に、親子教室「いのちのおはなし」を開催しました。

講座では、こもれび助産院の河辺紅子氏を講師として、「いのち」や「性」、「災害時に身を守ることの大切さ」などを親子で学びました。この講座は令和5年度にも開催しており、2年連続で実施しています。

補助金を活用して「まちづくり」に取り組んでみませんか？

田原市では、市民の皆さんが実施する公益的な活動を支援するための制度を設けています。
ぜひ、あなたの市民活動にご活用ください。

市民協働まちづくり事業補助金

※事業の経費や団体の設立年数により、
利用できる枠が異なります。

通常枠(補助対象経費10万円を超える事業)

募集期間 ● 令和7年2月3日(月)～3月3日(月)

補助金額 ● 上限20万円、補助率2分の1

※企画審査会があります。

少額枠では、市民活動団体の活動に
関連する講座の受講や先進事例の
視察も補助対象となります！

少額枠(補助対象経費10万円以下)

募集期間 ● 令和7年2月3日(月)～令和8年1月20日(火)

補助金額 ● 上限5万円、補助率2分の1

※活動のための講座の受講、視察も対象となります。

新規団体枠

新たに仲間を募って立ち上がった市民活動団体さんを
応援するものです。

募集期間 ● 令和7年2月3日(月)～令和8年1月20日(火)

補助金額 ● 上限7万円、補助率10分の10

設立満3年未満の団体さんを
対象とした枠です♪
皆さんの新しい活動を応援します！

市民提案型委託制度

市民活動団体さんが提案した地域の課題を解決するための事業を、
市と団体が委託契約を結び、実施します。

市役所の仕事を
わたしたちで
やってみたい！

テーマ提示型

令和7年度募集テーマ 男女共同参画啓発事業

男女共同参画を市民の方に広く知ってもらうための
講座の企画、開催やパンフレットの作成など

募集期間 ● 令和7年4月上旬～5月下旬(予定)

選考方法 ● 書類審査、非公開審査会

事業費 ● 上限13万円

自由テーマ型

「こんな事業があれば地域の課題が解決できるかも！」
という企画など、皆さんの自由な発想でご提案ください。

募集期間 ● 令和7年4月上旬～7月下旬(予定)

選考方法 ● 書類審査、非公開審査会

事業費 ● 上限100万円※令和8年度予算

編集後記

庭にもみじの木が一本あるのですが、昨年の夏に葉っぱがどんどん無くなっていってしまいました。何で？
とよく見たらおっきな青虫が…。こんな事態は初めてで、去年は我が家の紅葉を楽しむことが出来ません
でした。今年は四季の彩りを満喫出来るといいなあと思います。(m)

市民活動だより VOL.33 2025年2月17日発行

【編集・発行】

■田原市民活動支援センター

開設場所: ①田原文化会館フリースペース(火曜日・土曜日／正午～午後4時)

②田原市役所企画課(平日／市役所業務時間内)※祝日は除く

Eメール shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

■田原市役所 企画課(南庁舎3階) TEL.0531-23-3507 FAX.0531-23-0669

Eメール kyoudou@city.tahara.aichi.jp



▲田原市民活動支援センター
のホームページ

第18回

見て、触れて、体験できる!!

しみんのひろば

入場
無料

2025.02.09.(SUN)

会場：田原文化会館 (館内) OPEN 14:00

17:15 以降、館内がライトアップ!!
みんなで点灯式のカウントダウンをしよう!!

CLOSE 19:00



無料体験ブース

DJ 体験

(道端協同組合)

大葉桐み取り体験

(泉つまもの出荷組合)

ストリートダンス体験

(Dance studio MAZE)

フラダンス体験

(Ka Pā Hula O Ka Lehua Makaanoe 田原)

プログラミング体験

(プログラミングスクール GRIT)

流木ペン立て作り体験

(NPO 法人環境ボランティアサークル亀の子隊)

etc.

ステージ発表

プログラミングショー

(プログラミングスクール GRIT)

渥美太鼓「願成観音太鼓」

フラダンスショー

(Ka Pā Hula O Ka Lehua Makaanoe 田原)

ストリートダンスショー

(Dance studio MAZE)

ライブショー

(まっぽっくり)

etc.

食・販売ブース

渥美半島たはらブランド有志
(宮川産業・長栄・G ファーム・市飲食店組合)

遊食ダイニング風雅

泉つまもの出荷組合

子どもの食と未来を守る会たはら

Teaful NewYork

Finger Lime Base

etc.

PICK UP!!

史上初!!
プログラミングの
ステージもあるよ!!



大葉味噌おにぎり!
大葉ジュース!
体験会場で大量をゲット!



あいちの宝物
素材：調味料部門
見事がランプリ!
その魅力伝えます

Finger
Lime
Base

渥美オリジナルの
美味し過ぎる
デザート＆フード!!



子どもの「やりたい」を応援!
当日は水引
くみボタン体験を行います!



お茶に特化した
大人気のお店!!!
こだわりの焼き菓子など
販売します!!!



12周年を迎えた
田原を代表する本格派
ダンススタジオ!!
無料体験コーナーあり!!



流木を使って
個性たっぷりオリジナルの
ペン立て作り体験!!



本格派フコギョウ!
ゆっくりと流れる時間を
味わってください!!
体験もできます!!



問合せ：田原市民活動支援センター 田原文化会館1階 火・土曜日 (12:00-16:00) 開設

Tel 090-9123-7983 (鈴木) E-mail shiminkatsudo@tahara.aichi.jp

主催：田原市民活動支援センター 共催：田原市 企画・運営：しみんのひろば運営委員会

2025.02.09.[SUN]

会場：田原文化会館（館内）



OPEN 14:00
CLOSE 19:00

「しみのひろば」は、田原市内でまちづくりにかわる市民活動を行う人たちが集まり、情報交換したり、活動を紹介したりすることで、よりよいまちづくりを進めることを目的に開催しているイベントです。

会場で、さまざまな市民活動を見て、体験して、知ってください。一緒に、市民の力をまちづくりに活かしていきましょう。

無料体験ブース

◆NPO 法人 環境ボランティアサークル亀の子隊

◆豊橋みなみおやこ劇場

泉つまもの出荷組合

プログラミングスクール GRIT

Ka Pā Hula O Ka Lehua Makanoe 田原

道端協同組合

一般社団法人 ほっきょく

Dance studio MAZE

無料体験
実施中!

食・販売ブース

渥美半島たはらブランド有志

(宮川産業・長栄・Gファーム・市飲食店組合)

遊食ダイニング風雅

子どもの食と未来を守る会たはら

泉つまもの出荷組合

Teaful NewYork

Finger Lime Base

ここがポイント!!!!

今回は開催時間を 14 時～ 19 時で設定し、
今までとはひと味違った「しみのひろば」を企画しました。
ステージ発表では文化会館アトリウムを舞台に
遅い時間ならではの照明の映える（点灯式 17:15 以降）、
迫力に満ちたパフォーマンスをお届け!!!
今回初出展の団体も数多く、それぞれ熱量の高い
展示・体験・販売で臨みますので、新感覚の
「しみのひろば」をお楽しみいただけたと思います!!

パネル展示

◆CAEA 渥美半島環境活動協議会

◆NPO 法人 環境ボランティアサークル亀の子隊

◆視覚障害者団体さくらんぼ

◆NPO 法人 たはら広場

◆田原市図書館サポーターズ おおきなかぶ

◆豊橋みなみおやこ劇場

◆里山保全 山遊里

◆みみ友たはら

◆NPO 法人 たはら国際交流協会

たはら市民活動応援隊

和漢菜膳料理 春待坂

一般社団法人 ほっきょく

泉つまもの出荷組合

Finger Lime Base

子どもの食と未来を守る会たはら

渥美半島たはらブランド有志

(宮川産業・長栄・Gファーム・市飲食店組合)



◆印の団体は 16:00 までの出展です。

PICK UP!!

Finger Lime Base
田原産フィンガーライムの
魅力を伝えます!!
加工品の物販もやります!!



泉つまもの出荷組合
大葉味噌おにぎり! 大葉ジュース!
体験参加で大葉をゲットしよう!



Teaful NewYork
お茶に特化した焼菓子、
大人気の抹茶ラテなど!!!



渥美半島たはらブランド有志
(宮川産業・長栄・Gファーム・市飲食店組合)

遊食ダイニング 風雅
風雅オリジナルの 美味しすぎる
デザート&フード!!



Dance studio MAZE
迫力満点のステージ!!!!
無料体験もあります!!



Ka Pā Hula O Ka Lehua Makanoe 田原
ゆっくりと流れる時間を
味わってください!体験もできます!



一般社団法人 ほっきょく
子どもの「やりたい」を応援!
当日は水引・くるみボタン体験を行います!



プログラミングスクール GRIT
楽しく体験ができます!
史上初!プログラミングの
ステージ発表もあります!



企業・学生等ボランティア活動紹介

1 企業等ボランティア

課名等	事業者・企業名	内 容
企画課 子育て支援課 文化財課	トヨタ自動車田原工場	○世のため活動 清掃活動 ・ 保育園、小・中学校の草刈り、清掃等を実施 ・ 表浜自然ふれあいフェスティバル参加 ○ちょいボラ 折り紙ボランティア ・ 各保育園に飾り用折り紙寄付 ・ 保育園を訪問し園児に折り紙をプレゼント ○トヨタ自動車田原工場 S X 会 清掃活動等 ・ 吉胡貝塚史跡公園草刈り (R6: 2 回) ・ 保育園の環境整備 (草刈り、網戸の張替えなど)
生涯学習課	トヨタ自動車田原工場 アイシン田原工場 フタバ産業田原工場	○田原市少年少女発明クラブ 夏休みの工作指導 (R6. 7. 20～R6. 8. 24 計 6 回実施) 
地域福祉課	トヨタ自動車田原工場	社会福祉法人成春館 ○R6. 4. 14 田原工場 S X 会 ・ 蔵王苑中庭の「ビワの実 袋掛け」「中庭の整備 (芝刈り、雑草抜き等)」「窓ふき清掃」 ○R6. 7. 3 田原工務室 ・ ドローンから見る蔵王苑、近隣の風景観賞 ○R6. 10. 27 田原工場ボランティア活動 ・ 成春館文化祭に向けて「蔵王苑中庭芝刈り、草刈り」「窓ガラス清掃」「成春館駐車場周辺の草刈り」
スポーツ課	トヨタ自動車(株) 150 人 (株)アイシン 50 人 トヨタ紡織(株) (豊橋市) 50 人 (株)セキノ興産 (豊橋市) 8 人 シーヴィテック 4 人 三菱UFJ 銀行 10 人	○第 64 回中部・第 54 回北陸実業団対抗駅伝競走大会 (R6. 11. 10) ・ コース (沿道) の整理、カラーコーンの設置・撤去等 ※R 6 は、新たに三菱東京UFJ 銀行 (10 人) から協力があった。

	トヨタ自動車㈱ 33 人 ㈱アイシン 20 人 日本郵便（豊橋市、田原市内の局から）23 人	○第 71 回渥美半島駅伝競走大会（R7. 2. 2） ・コース（沿道）の整理、カラーコーンの設置・撤去等
	トヨタ車体クインシーズ（刈谷市） 選手・監督・コーチ 23 名	○中学生バレーボール教室（R6. 9. 7） ・バレーボールを通じた青少年の健全育成を目指すとともに、国内トップアスリートからの技術指導を通じた競技力及び体力の向上を目指す。 ※H25 から指導を受けている。 ※講師料は地域貢献活動の一環として行うため無料としているが、一泊二日分の宿泊費用は主催者負担とする形式で教室を開催している。
	トヨタ自動車硬式野球部（豊田市）6 名	○中学生野球教室（R7. 1. 18） ・野球を通じた青少年の健全育成を目指すとともに、国内トップアスリートからの技術指導を通じた競技力及び体力の向上を目指す。 ※H30 から指導を受けている。 ※地域貢献活動のため、費用は選手の昼食代のみ。

2 学生ボランティア

課名等	団体名	内 容
街づくり推進課	田原中学校のボランティアクラブ「たはランティア」	まちなか賑わいづくり実行委員会や田原中部地区景観まちづくり検討会の活動への協力
	福江中学校のボランティアクラブ「ドリームの会」	清田・福江校区まちづくり推進協議会の活動への協力
総務課 高齢福祉課	愛知大学 学生地域貢献事業 「おいでん喫茶」	2018 年に設立。 一色集会所の一色「爺ちゃん婆ちゃん喫茶」や田原福祉センターの「よってきん会」において、月 1 回ずつ、学生が企画したゲームなどを行い高齢者向けコミュニティー活動の活性化に取り組んでいる。

田原市市民協働まちづくり事業補助金交付要綱の一部改正について

田原市市民協働まちづくり条例第 13 条の規定による市民活動の財政的な支援制度の効果的な活用につなげるため、田原市市民協働まちづくり事業補助金交付要綱の一部を改正し、市民活動団体が行う市民公益活動の推進と市民活動の担い手の裾野拡大を目指す。

【主な改正内容】

1 補助対象事業の事業区分の統合、それに伴う別表の改正

■事業の区分

変更前	変更後
通常枠	通常枠
少額枠	少額枠 ※従前の人材養成枠の講座、視察を目的とした事業を追加
新規団体枠	新規団体枠 ※従前のチャレンジ枠の対象は 40 歳以下の若い世代としていたが年齢制限を設けず、新規団体枠へ事業区分を統合する
チャレンジ枠	上記に統合
人材養成枠 (講座、視察)	

※チャレンジ枠、人材養成枠（講座・視察）は平成 31 年度以降、実績なし

2 条項の整理等

ア 通常枠の補助対象事業経費の軽微な修正

※別表第 1（第 2 条関係）

変更前 補助対象経費 10 万円以上のもの

変更後 補助対象経費 10 万円を超えるもの

イ 少額枠の補助対象事業経費及び補助金上限額の軽微な修正

※別表第 1（第 2 条関係）

変更前 補助対象経費 10 万円未満の事業

変更後 補助対象経費 10 万円以下の事業

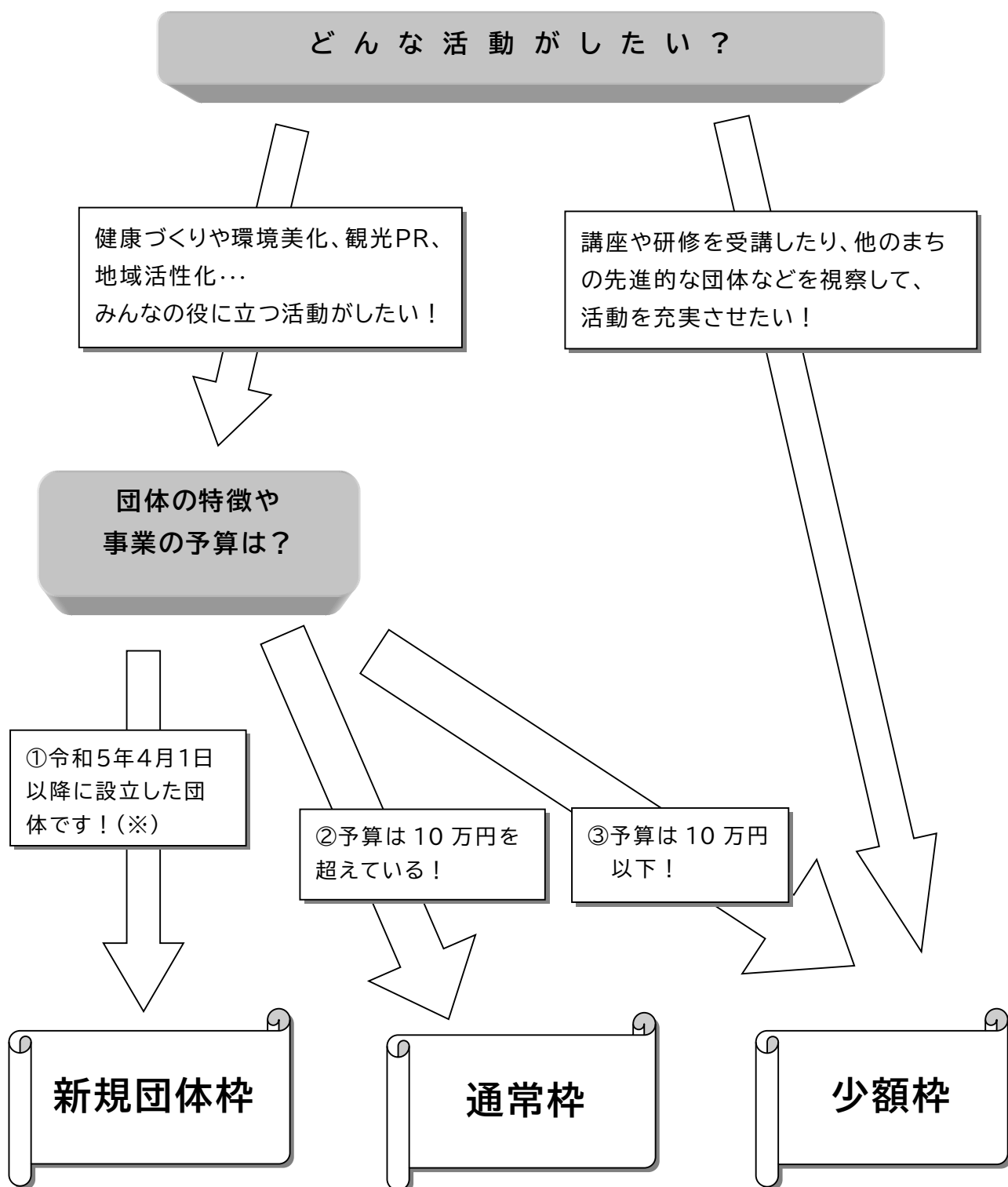
※別表第 4（第 5 条関係）補助対象事業経費の上限額の見直しに伴う修正

*参考：田原市市民協働まちづくり条例第 13 条

「市の機関は、市民公益活動に対し、必要に応じ、人的支援、財政的支援等を行うものとする。」

○田原市市民協働まちづくり事業補助金のフローチャート

市民活動団体のみなさんに適した補助金を、フローチャートでご案内します!!



※ ①と③の両方の要件を満たす場合は、企画課へご相談ください。

○ 田原市市民協働まちづくり事業補助金の比較表

(令和7年度)

	通常枠	少額枠	新規団体枠
補助対象経費	10万円を超える	10万円以下	---
募集開始	令和7年2月3日(月)～		
応募期限	～令和7年 3月3日(月) 【期間固定】	～令和8年1月20日(火) 【随時】	
補助率	2分の1	2分の1	10分の10
補助額 (上限)	20万円	5万円	7万円
予算枠 団体数	2団体	3団体	3団体
選考方法	審査会 (公開)	書類審査	
補助対象 事業	・NPO法20分野 ・伝統文化継承事業	・NPO法20分野 ・伝統文化継承事業 ・専門知識等を習得する ための講座、視察	・NPO法20分野 ・伝統文化継承事業
特殊な 団体要件			令和5年4月1日以降 に設立された団体

※NPO法：「特定非営利活動促進法」の通称名。

※令和7年度田原市の市民協働まちづくり事業補助金応募の手引き（抜粋）

○ 各支援策の比較表(変更前)

	通常枠	少額枠	新規団体枠	チャレンジ枠	人材養成枠 (講座等)	人材養成枠 (視察)
募集開始	令和6年2月5日(月)～					
応募期限	～令和6年 3月7日(木) 【期間固定】	～令和7年1月24日(金) 【随時】				
補助率	2分の1	2分の1	10分の10	2分の1	全額または 一部	全額または 一部
補助額 (上限)	20万円	4万9千円	5万円	9万円	2万円	4万円
予算枠 団体数	2団体	2団体	2団体	1団体	1団体	1団体
選考方法	審査会 (公開)	書類審査	書類審査	書類審査	書類審査	審査会 (非公開)
事業分野	NPO法 20分野 + <u>伝統文化継承 事業</u>	NPO法 20分野 + <u>伝統文化継 承事業</u>	NPO法 20分野 + <u>伝統文化継 承事業</u>	NPO法 20分野 + 地域コミュニ ティ活性化 又は伝統文 化継承事業	専門知識や 手法等を習 得する講座 や研修	田原市まち ・ひと・しご と創生総合 戦略アクシ ョンプラン
特殊な 団体要件			令和4年4 月1日以降 に設立され た団体	5人以上の おおむね18 歳から40歳 の市民で構 成されてい る団体	個人可 (活動後に団 体設立 or 加 入が確実な 場合のみ)	個人可 (活動後に団 体設立 or 加 入が確実な 場合のみ)

各委員の取組み

1	渡会 美加子 委員
○たはら市民活動支援センター 「みんなの声」意見について（別紙参照） 第 18 回しみんのひろばについて（別紙参照）	

2	橋本 聡恵 委員
○たはら女性コミュニティ Knoo（くの）の活動 10/13（日） やってみまいマルシェ （別紙レポート参照） 11/17（日） ピクニックランチ会 2/2（日） お椀の会 3/8（土） あつみレイ マルシェ出店 ○YAROMAI 別紙レポート参照	

3	鈴木 雄大 委員
○田原青年会議所 ・子育て支援課と協働の例会の開催（ララグラン） ・滝頭桜まつり 田原区と渥美半島観光ビューローと協働でウォークラリーを開催	

ホワイトボード まちづくり・市民活動 みんなの声一覧 2024年10月～2025年3月

（一部抜粋）



※読みやすいように、ひらがなを漢字にしたり、文末の表現を変えたりしています。

※似たような記述に関しては（数字）でまとめています。

※個人的なものや過激なもの、誹謗中傷といったものはセンターの判断で一覧に挙げていません。

☆まちづくりに関連する意見・要望

- ・無料で誰でも食事ができ、色々なものが配布される所をつくってほしい。
障害者や高齢者の働き場所をつくってほしい。（2）
- ・子ども食堂をつくってほしい。大人も子供も遊べる場所をつくってほしい。（2）
- ・小学生が無料で遊べる場所が増えてほしい。

☆商業関係諸施設の誘致・建設に関する意見・要望

- ・「スタバ」(12)、・「ミスタードーナツ」(7)、・「ポケモンセンター」(6)、・「ドンキホーテ」(4)、・「ユニクロ」(2)
- ・「サイゼリヤ」、・「ジョイフル」、・「ドミノピザ」、・「ケンタッキーフライドチキン」、・「丸亀製麺」
- ・「ポムの木(オムライス屋)」、・「ゲームセンター」(5)、
- ・ドラックストアが多すぎると思う。
- ・「ららぽーと」をつくってほしい。・ダイソーとゲーセンが光崎にほしい。
- ・フットサルが出来るところ造ってほしい。

☆その他

- ・ガソリンがもう少し安くなるとありがたいです。
- ・畑のスプリンクラーの水が道路まできて、車が汚れるのももう少し農家の方は配慮してほしい。
- ・薬局、スーパー以外の施設が新設されると嬉しい。
- ・バスケの環境をもっと増やしてほしい。
- ・田原は人が集まる施設が絶対必要！豊橋市民から何もないと批判ばかり受ける。
- ・田原市はとってもいいところ。伊良湖に温泉もある。もっと近ければサイコー！
- ・かわいいお店をつくってください。
- ・まちに何もない

第18回しみんのひろば 2025.02.09 開催

渡会委員 別紙2

「しみんのひろば」は、市内のまちづくりに関わる市民活動団体や個人が、日頃の活動の紹介や、発表をして市民の方々と交流するイベントです。

1. 開催日時・場所

* 2025(R7)年 2月 9日(日) 14時～19時

* 田原文化会館1階

2. 実施の概要

市民活動やボランティア活動をする団体や個人が活動のPRを行い、来場者が市民活動やまちづくりに触れる機会となり、市民の方々の交流につながった。

* 26団体が参加（ブース出展22、ステージ発表8 同時参加を含む） ※チラシ参照

* 約 1,000 人の市民と交流

3. 実施の効果

- ・午後開催ということもあり、開催時点から多くの来場者がいた。
- ・本年度は、新たな出展団体があり、来場者の関心を呼んでいた。どのブースにも常時訪問者がいた。
- ・多目的ホールでの太鼓のパフォーマンスから始まり、その後のアトリウムでのステージ発表では、太極拳、フラダンス、ストリートダンスやプログラミングショーなどがあり、田原市内で活躍する団体の皆さんのステージは、大いに参観者を魅了した。
- ・全体をとおして、多くの市民にさまざまな活動を知ってもらう機会となり、市民活動団体交流・啓発業務としての効果は十分にあった。

4. その他の成果、今後の課題、展望等

- ・午後開催ということで、田原文化会館アトリウムは、17時以降鮮やかな照明に照らされ、魅力的な空間となった。新たな試みとして照明の演出、モニターの設置は来場者にインパクトと関心を与えた。
- ・照明や音響の演出のため、会場周辺への配慮が必要で、多くの市民の理解を得られる開催を心掛けたい。
- ・今後も、出展団体や協力してくれる市民を増やして実施していきたい。

5. 開催の様子



【女性起業家スタートアップ応援プロジェクト～やってみまいマルシェ～報告レポート】

―― イベント概要 ――

- ・ 名称 女性起業家スタートアップ応援プロジェクト
- ・ 日時 2024年10月13日（日） 11時00分～15時00分
- ・ 会場 シーホリック （愛知県田原市赤羽根町四貫目80-1）
- ・ 概要 女性起業家やこれから起業を目指す女性を対象に、彼女たちの商品やサービスを田原市民に紹介する場としてのマルシェの開催
- ・ 主催 たはら女性コミュニティ運営委員会
- ・ 後援 田原市
- ・ 助成 田原市市民協働まちづくり事業補助金

―― イベント結果 ――

参加者数：来場者数 約70名 出店者 8店舗11名、運営ボラティア 3名、運営スタッフ 4名
全体 約88名

―― 実施レポート ――

当日は天候も良く、季節に合わない暑い日でしたが、トラブルなどもなく無事に一日を終えることが出来ました。当日の来場者は、出店者やボランティア、スタッフの家族や親族、友人がメインで、赤羽根地区の方も来てくださいました。出店者のうち、5店舗が出店経験がなく、3店舗が他のマルシェへ出店経験がある方でした。

初めてマルシェに出店した方の中には、産後うつと10年以上付き合いながら生活している女性は、周りに迷惑をかけるかもしれないけど、勇気出して参加することを決意し、小学生の不登校のお子さんに悩む女性は、母親としての役割を全うすることと自分のやりたいこととの狭間で迷った結果、家族の後押しがあり、参加しました。

当日までの準備期間中は、準備に対しての焦りや、初めてのお客様対応に対しての緊張感などあったようでしたが、マルシェ出店経験者がいたことで相談でき、当日は、安心感して、お客様にサービスを堂々と提供する姿が見られました。マッサージは5名、カラーメンタリングは6名、ヘナタトゥは16名、アイシングクッキーは19名のお客様に体験をしていただき、パンの販売については完売となりました。今回、出店はしませんでした。将来、飲食店を構えたいと考えている栄養士の女性にとっては、出店者と運営スタッフに限定でお弁当を提供するという挑戦の機会や、デザインが得意な女性には看板とリーフレットの絵を作成してもらい、彼女の得意なことを活かす場をつくることができました。

また、来場者には、リーフレットを配布し、出店者のような女性たちを地域で支え応援する必要性について案内をしました。来場者数は多くはありませんでしたが、はじめて挑戦する彼女たちにとっては、自分自身も楽しみながら、お客様に笑顔になって帰ってもらうという喜びを経験でき、次の活動につながる機会となりました。さらに、ボランティアとして手伝ってくれた女性は、次回は自分も出店したいという声もあり、活動の輪が広がっていく予兆が見えた事業となりました。

—— イベントの様子 ——



【立て看板】



【オープン前の準備中の様子】



【アイシングクッキー完成品】



【アイシングクッキー体験】



【アイシングクッキー体験】



【美容用品の販売】



【美容用品の販売】



【マッサージ体験】



【カラーメンタリング体験】



【パンの販売】



【出店者の子どもによるフリマ】



【小物入れカバンの販売】



【小物入れカバンの販売】



【観葉植物の販売】



【観葉植物の販売】



【ヘナタトゥの体験】



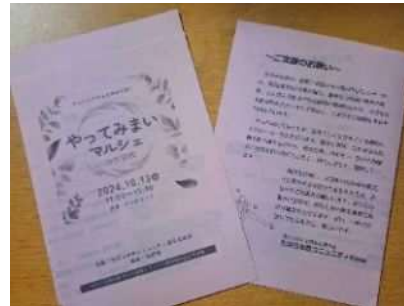
【ヘナタトゥの体験】



【キッズスペースの様子】



【出店者スタッフ限定の弁当】



【配布リーフレット】



【運営後の解散前の挨拶】

—— 出店者アンケート ——

・初めての経験が出来て、人と人との繋がりって凄いなって思いました。今回声かけてもらって凄く自信になりました。

・資格を取ったけど、何からはじめたらいいか、そもそも不安だしなーって足踏みしてたところに出店の声をかけてもらえて、地元のホームな雰囲気の中でみんなと一緒にやられるかもって思って出店しました。それまで専用のインスタアカウントさえ持っていなかったから急遽作ったり、資料を1から作成したりで直前まで結構バタバタして大変だったけど、久しぶりに働いてる感があって充実感がありました！実際にマルシェに出店してみて、対面でお客様の熱を感じながらできる楽しさはすごく感じました。反面、改善点もあったからそこを次に繋げて行きたいなーと思ってます。まだ今後こういった形でビジネスにして行くかの方向性は決まってないけど、今回のマルシェで得た事はたくさんあるので、このような素敵な機会を作っていただき、声をかけてもらえて本当に感謝してます。あと、普通にやってるけど全然普通じゃなくてみんながそれぞれ才能めっちゃあるじゃん！って改めてすごく感じたから、それを活かせるような場がまたあると自信につながるしいなーって思いました！

・初めてのマルシェ参加はこのメンバーだから挑戦しようって思えた。不安だった気持ちもみんなの沢山のフォローで凄く気持ちが軽くなってイベント準備も楽しみながら出来たことは感謝しかありません。自分にとってもいいキッカケをもらって素敵な経験になりました。とっても多くの方に来て頂いて、みんなの笑顔が素敵だったなと感じました！また違うカタチでもいいので、輪を感じれるイベントが出来たらと思いました。

- ・今回は私の中で当日にパンを焼いて作るチャレンジをしました。なかなか大変ではあったけれど、めっちゃいい経験になりました。ありがとうございました。
- ・思い通りに進まないことが多くて大変で当日も疲れたけど、新しいことへのチャレンジができて良かった！
- ・ギリギリ人間が故に、準備してる時は思うように進まずに、間に合わないー！！ってめっちゃ焦ったし、自分が本当に出店なんてしていいんだろうか…とも思ったりしたけど、今回出店してみて、ほんとに良かったです！！こんなでいいの…？て自分では思うけど、予想以上にお客さんが来てくれてそして喜んでくれて、とっても嬉しかった。それから、初めて会うみんなが、自分にとっても優しくしてくれて、みんなと一緒にマルシェをやり遂げれたこと、素敵な赤羽根のみんなと横の繋がりができたこと、それが何より嬉しかったです。今回出店できたことで、また別のマルシェにも挑戦してみたくなりました。
- ・初めてのマルシェめっちゃくちゃ楽しかった。不安もあったけど楽しそうやってみたい！って素直に思え、運営スタッフの完璧なサポートのおかげで安心して出店出来ました。もちろんその他のサポートメンバーにもたくさん助けられました。本当に感謝です！まさにみんなで作ったマルシェ！あとお弁当が美味しすぎて幸せでした。私の反省点は告知をもっとしなきゃいけなかったことと、待ちが発生した時の対応を考えてなかったことかな。地元の同級生と素敵なイベントに参加する事ができて幸せでした。またみんなで何かできたらいいな。皆さまありがとうございました。



～ご支援のお願い～



日本の女性は、家族や社会からの期待やプレッシャーの中、家庭(育児)と仕事の両立、産後うつや適応障害の発症、シングルであるが故の経済的精神的な不安、子どもの不登校や夫のメンタル不調など、さまざまな課題をそれぞれ抱えています。

そんな状況であっても、自分らしく生きることを諦めたくない！という女性がいます。彼女たちは、さまざまな困難を乗り越えながらも、自分自身と向き合い、自分の得意なこと社会の役に立とうと、自立しようと、奮闘しています。



現状を打破し、より幸せな未来を築こうと努力する女性たちを支えるため、あなたのご支援をお願いします。あなたの温かい支援が、彼女たちの夢の実現に向けた始まりとなります。ぜひ、一緒に応援してもらえたら、嬉しいです。

変えたい女性を応援する
たはら女性コミュニティKnoo

田原市民提案型委託事業 レポート

イベント名：親子教室「いのちのおはなし」

災害時にどう守る？大切な自分のからだ、自分で守れるように備えよう

場所：田原市親子交流館すくっと 2 階マルチスタジオ

講師：こもれば助産院 河辺紅子様

企画運営：YAROMAI

< 1 回目 >

日時：2024 年 11 月 23 日(土) 10:00～12:00

参加人数：児童・幼児とその親：9 組 23 名

講師：1 名、YAROMAI スタッフ：5 名 合計 29 名

< 第 2 回 >

日時：2025 年 1 月 11 日(土) 10:00～12:00

参加人数：児童・幼児とその親：7 組 22 名

講師：1 名、YAROMAI スタッフ：5 名 合計 28 名

< 実施内容 >

まず、前半は、防災対策についての話題から、プライベートゾーンについて、災害時の性被害の実態と実例について学びました。子ども達には、塗り絵を通してプライベートゾーンがどこなのか理解してもらい、被害にあいそうな場面を想定して、叫んで逃げ、信頼できる大人に話すことを伝えました。休憩時間には、妊婦体験や赤ちゃん人形を抱くことで、お母さんが大変な想いで自分を産んでくれたことや赤ちゃんの命の重みを感じる時間になりました。

また、災害時の避難所がどういう環境なのか、実際に、携帯トイレやテントを用いて、体験してもらいました。テントに入って、人の気配がすぐ側にある状態での排泄をすることや覗かれる危険性を伝えました。防災グッズについても、講師やスタッフが常に持っているものを参加者が手に取って使ってみたり、どんな備品が必要なのか相談したりする時間も設けました。

さらに、ハザードマップや防災アプリなどの案内をするとともに、自治体での備蓄品を決めているのは男性が主になっているため、生理用品やオムツなどは優先順位が低くなりがちである状況や、災害時の避難所をつくる際には、男性だけの視点ではなく、女性が声をあげて自分たちの身を守る小さなコミュニティをつくる必要性についても言及しました。

一人一人の命が大切なものであるのと同時に、自分の子どもだけでなく、母親自身の身を性被害から守るためには、横のつながりが必要で、女性のリーダーシップが求められることを伝える機会にもなりました。

<講座の様子>



<参加者の感想>

別紙参照